

# つばた

議会だより

No.130

2014. 7. 5

**6月会議 新幹線が目の前を走る!** 2P

**クローズアップ** (仮称) まちなか科学館を 4P

**いっばん質問** 要支援1、2の方への対応は 9人が登壇 7P

**あの質問のゆくえ** 早期に定住促進拡充策を 17P

こんなに反れるよ!

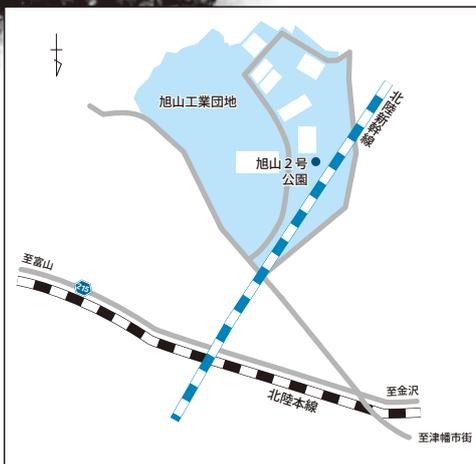
(笠谷保育園)

# に 線が の前を走る！

## 旭山2号公園改修に1200万円計上

6月会議を4日から11日までの会議期間で開催した。  
初日に一般会計・特別会計補正予算、条例の改正などを含む議案9件、承認11件が提出され、引き続き町政全般について9人が一般質問を行った。11日に公平委員会委員、固定資産評価審査委員会委員の任命、人権擁護委員の推薦について同意した。議案は、各常任委員会審議を経て全議案を可決、請願3件を不採択とした。

来年春金沢開業を予定している北陸新幹線は、高架やトンネルが多く、眺望できるスポットが限られている。旭山2号公園は北陸新幹線が望める絶好の場所に位置している。町内外から多くの人が訪れることが想定されるため、駐車場やフェンスなどの整備、視界を遮る木の伐採などを行う。また、トイレ設置の要望が多くあり、早期に設置できるように検討している。改修工事は9月に着手し、年内の完成を目指している。



## 人事

### 選任された委員

公平委員会委員

鈴木 準一氏

(北中条)

新任



固定資産評価審査

委員会委員

舟田 勉氏

(庄)

再任



人権擁護委員

脇田 澄子氏

(横浜)

再任



山岸 勝成氏

(太田)

新任



(全員賛成)

# 一般会計補正予算

1億4725万円を可決  
(賛成16人・反対1人)

一般会計総額121億8025万円に

新たな観光スポット

# 新幹 目



▲眺望一等地

## 表彰

### 自治功労者表彰

4月30日に石川県町村議会議長会が開催され、自治功労者表彰を受けた。



河上 孝夫 議員

全国町村議会議長会表彰  
(27年以上)



道下 政博 議長

県町村議会議長会表彰  
(11年以上)

安心・安全なまちづくり  
住んでよかったと  
実感できる地域づくり

### 町長2期目の 所信表明

○現状の福祉政策などの行政サービスを着実に実行し、かつ前進させること  
○20年先、50年先の未来につなげるための施策に着手し、将来に夢と希望が持てるよう、その第一歩を踏み出すこと  
この2つの方針を基本に町政を行いたいと考えている。

# こんなことに使われます クローズアップ

6月補正予算で新たに行われる事業など、一部を紹介します。

## 空き店舗を利用

### まちなか科学館に

436万円

商店街の空き店舗を利用して、いつでも身近に科学を体感できるような「(仮称)まちなか科学館」を開設する。

**Q** 対象は。  
**A** 小学生をメー

ンに、大人も楽しめることを考えていき



▲にぎわいを求めて

## 自主防災クラブに

### 発電機を配備

217万円

町内の各自主防災クラブに発電機を計18台配備する。

## 河北中央病院の

### 医療機器を充実

2820万円

経鼻内視鏡（鼻から入れる細い胃カメラ）を導入し、苦痛の少ない内視鏡診断を行える体制を整える。

また、救急診

療体制の整備のため救急室の除細動器を新型に更新する。



経鼻挿入  
内視鏡が舌のつけ根を通らず、のどにも触れないので、不快や吐き気を感じにくい。

## 放課後児童クラブ

### 開所時間を延長

629万円

開所時間を午後7時まで延長する施設が5か所増加したことおよび、新たに指導員の人件費が加算されるため補正する。

このことにより、各クラブの開所時間は、午後7時までが6か所、午後7時30分までが3か所となる。

# 条例改正

## 津幡駅前駐車場 使用料を改正

- 月極使用  
1か月につき4600円
- 一時使用  
1回につき、初めの30分まで無料とし、30分を超えて1時間までは100円、以後1時間までごとに100円とする。

8月1日から実施する。  
(賛成16人・反対1人)

**反対**

駐車料金無料の時間を30分短縮することは住民の観点から言えばサービスの低下である。また、わざわざ月極駐車場をつくる必要はない。

塩谷 道子 議員

# 委員会 審議

町議会では3部門の常任委員会に分かれ審議しています。

**総務**（総務・財政・税務・議会・監査・消防など）

◎森山時夫◎荒井 克 向 正則 道下政博 南田孝晃 谷下紀義

**文教福祉**（民生・衛生・保険年金・福祉・教育・病院）

◎角井外喜雄◎黒田英世 塩谷道子 多賀吉一 谷口正一 河上孝夫

**産業建設**（土木・農林・労働・商工・上下水道）

◎酒井義光◎八十嶋孝司 西村 稔 中村一子 山崎太市 洲崎正昭  
（◎委員長 ○副委員長）

## 産業建設

### 公共下水道を整備



整備が待たれる施設周辺

-上下水道課-

**Q** 整備箇所はどこか。  
**A** 庄地内の大型商業施設周辺の整備を計画している。

**Q** なぜ今ごろ整備が必要なのか。  
**A** この周辺は下水道を整備する以前に開発された地域であり、これまで未整備であった。公共用水域の水質保全のため下水道を整備する。

## 文教福祉

### 介護支援ボランティア ポイント事業とは

-長寿介護課-

**Q** ポイントの対象は。  
**A** 65歳以上の方が介護ボランティア活動を行ったときにポイントをつけたいと考えている。今後、ポイントの対象について検討していく。

**Q** ポイントとして、地域通貨を考えているか。  
**A** ドレミファカードを考えている。検討会議には、商工会の方にも参加していただく予定である。

## 総務

### マイナンバー

### 社会保障・税番号制度を導入

-総務課-

**Q** マイナンバーとは。  
**A** 特定の個人を識別するため、国民一人一人に割り当てられる12桁（予定）の個人番号。法人にも13桁（予定）の番号が割り当てられる。

**Q** 導入の目的は。  
**A** 社会保障・税分野の情報共有を図ることにより、公正な給付と負担を確保する。

**Q** 今後のスケジュールは。  
**A** 平成27年10月に個人番号の通知が行われる。28年1月から個人番号の利用、個人番号カードの交付が開始される。

**Q** 番号を変更することはあるのか。  
**A** 生涯不変の番号であり、住所地とは無関係に決定される。



▲マイナンバー広報用ロゴマーク

# 請願3件を審査

不採択となった請願

## 集団的自衛権の行使容認の撤回を求める

◎請願者 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟

石川県本部 納口 清隆

紹介議員 塩谷 道子

(賛成3人・反対14人)

### 主旨

安倍首相は、集団的自衛権の行使を認める憲法解釈を検討するよう指示した。集団的自衛権が行使されれば、国民の命と暮らしが危険な方向へ向かい、憲法の根幹が覆されてしまう。憲法解釈変更による集団的自衛権の行使容認を撤回すること、憲法第9条を守り、生かすことを求める。

### 賛成

集団的自衛権行使容認に踏み込めば、海外での戦闘に巻き込まれる。国の形を変えることを閣議決定することは、憲法でも認められていない。

塩谷 道子議員

### 賛成

憲法9条と自衛隊との関係をあいまいにしたまま、憲法の拡大解釈による集団的自衛権行使容認は看過できない。

黒田 英世議員

### 賛成

集団的自衛権行使容認の条件があいまいであり、その時々々の政権によって勝手に解釈され、運用される可能性がある。

中村 一子議員

### 反対

日本に対する安全保障環境が複雑化している中、新たな法整備を考え、グレーゾーンなど喫緊の課題に対応するためには行使容認は必要である。荒井 克議員

## 消費税増税に反対する意見書の提出を求める

◎請願者 消費税廃止石川県各界連絡会

加藤 忠男

紹介議員 塩谷 道子

(賛成1人・反対16人)

### 賛成

消費税増税分は社会保障にまわすと言っていたが、社会保障の負担増との一体化でこの言い分は認められず、負担だけが重くのしかかる。

塩谷 道子議員

### 反対

わが国の財政状況を考えれば、増税はやむを得ない。ただ、公約どおり増税分すべてを社会福祉に充てるべきである。

黒田 英世議員

### 反対

社会保障に対する財源確保が必要であり、増税による税収を年金・医療・介護・子育て支援にまわし、安定財源確保を図っている。

荒井 克議員

## 要支援者の介護予防給付の継続を求める

◎請願者 石川県新日本婦人の会津幡班

牧野 悦子

紹介議員 塩谷 道子

(賛成1人・反対16人)

### 賛成

当町では要支援1、2に対するサービスの低下はないと明言しているが、国が行おうとしているのは社会保障の切り捨てである。

塩谷 道子議員

### 反対

地方分権が求められる中、自治体の実情に応じた福祉政策を充実させることにより、定住人口増にもつながられる。

黒田 英世議員

# ズバリ

# 町政を問う

## 9人が一般質問

一般質問とは、議員が町政全般について町長など執行機関に考えや方針を問うものです。制限時間は1人30分以内で、一問一答で行われます。

- 1 塩谷 道子 議員……………8  
 ・要支援1、2でも介護事業所を利用できるか  
 ・就学援助費を生活保護費引き下げと連動させるな  
 ほか3問
- 2 角井外喜雄 議員……………9  
 ・ふるさと納税に特典を与えよ  
 ・要支援1、2の対応と在宅生活困窮者への対策は
- 3 西村 稔 議員……………10  
 ・今後4年間の取り組みは  
 ・学童保育指導員を保育士に準ずる制度に
- 4 八十嶋孝司 議員……………11  
 ・並行在来線の利用促進策は  
 ・農業公園建設資金に住民参加型ミニ公募債の運用を
- 5 黒田 英世 議員……………12  
 ・町長2期目の町政の軸足は  
 ・行政情報システムのセキュリティーは万全か
- 6 森山 時夫 議員……………13  
 ・町内に出没するクマの個体数を減らせ  
 ・清水丘陵線沿いの竹林を伐採せよ
- 7 中村 一子 議員……………14  
 ・第五次総合計画策定プロセスに住民参画を  
 ・農業公園計画を町民に周知し幅広い意見を求めよ  
 ほか1問
- 8 荒井 克 議員……………15  
 ・科学のまち・つばたの具体的な構想は  
 ・情報発信で森林公園のさらなるPRを
- 9 南田 孝是 議員……………16  
 ・津幡丘陵公園用地でキノコの森づくりに取り組み  
 ・セカンドブック事業を取り入れよ  
 ほか1問

### 議員の寄附行為は公職選挙法で禁止されています

- 香典や結婚披露宴における祝儀  
 (本人出席の上、通常一般の社交の範囲であるときを除く)
- 議員や後援会がお中元やお歳暮を贈ること
- 町民や団体が議員に寄附などを求めること

このほか、議員活動に対して法律上の制限があります。各種会合への出席依頼には参加費を必ず明記してください。

皆さまのご理解とご協力をお願いいたします

# ん質問



塩谷道子 議員

## 介護保険

要支援1、2でも介護事業所を利用できるか

現在と同様と  
考えている

塩谷 議員

平成27年度介護保険制度改革では、一人で入浴することに不安のある要支援者は、デイサービスの利用ができるのか。身体介護も専門家である介護事業所の職員を利用できるようにせよ。

また、介護予防に関する地域支援事業費がかさんだ場合でも、サービスの質が今より低下しないよう、町がその費用を負担せよ。



▲介護事業所で安心

平成29年4月までに開始する新たな総合事業でも、現在と同様なサービスが受けられるよう環境整備を図りたい。介護事業所の専門スタッフによる入浴介助、身体介護サービスなどを必要とする方が利用できなくなるようなことはない。利用者の負担は現在と同程度と想定している。

岡田 町民福祉部長

## 生活保護基準と 連動させるな

制度の趣旨から  
見直す予定はない

## 就学援助費

塩谷 議員

国は昨年8月から生活保護基準の引き下げを行った。そのことは就学援助費などにも影響する。この基準の引き下げでは収入が増えなくても、昨年度の該当者が対象から外されるという理不尽なことが起こる。就学援助費を生活保護基準引き下げと連動させず、独自の手立てで対象を減らさないようにせよ。



▲いつでも申請を

早川 教育長

就学援助費の受給世帯は、生活保護基準額を基準に準要保護基準額を算定し、認定している。

昨年、生活保護基準額が見直されたが、生活水準、生活実態を反映させたものと理解している。就学援助費についても生活保護費と同様と考えている。

基準額の変更を連動させない、または別の手立てを行うことについては、制度の趣旨、仕組みと違う方向となり、現時点では見直す予定はない。

### その他の質問

**Q** 消費税増税による給食費の値上げ分を助成せよ。

**A** 個別の対応は考えていない。

**Q** 定住促進制度に子育て政策を追加せよ。

**A** 子育て支援サービスは別途考えている。

**Q** 地方教育行政法改正案の見解は。

**A** 教育行政の一層の充実が図られると考える。



角井外喜雄 議員

ズバリ  
町政を問う

いっぴ

特典を与えよ

企業、生産者から安価で提供いただければ検討する

ふるさと納税

角井 議員

ふるさと納税制度がで  
き、6年が経過した。納  
税者は税制上の優遇処置  
が適用されることや、謝  
礼品が贈られることで寄  
附される方が多くいる。  
各市町村は工夫を凝らし  
た謝礼品を用意し、イン  
ターネットを活用して喚  
起を促している。

当町もさまざまな特典  
を用意したパンフレット  
を作成し、ふるさと納税  
推進に取り組み。

矢田 町長

制度導入時、当町では  
ふるさと納税の趣旨を尊  
重し、特産品の提供を行  
わないとした経緯がある。  
現在、寄附者には感謝状  
と併せて名前を掲載した  
広報つばたを送付してい  
る。

今後、この制度を活用  
したい企業、生産者から  
特産品や自社製品を安価  
で提供していただければ  
特典として検討したい。

※ふるさと納税

「ふるさと」を応援したい  
という納税者の思いを実現す  
るため、地方公共団体に寄附  
した場合に、個人住民税およ  
び所得税を一定限度まで控除  
する仕組み。

介護サービス

要支援1、2の対応と  
在宅生活困窮者への対策は

介護保険事業計画を策定し、

充実を図る

角井 議員

今日の高齢者を支える  
状況は、核家族化や施設  
入居待機者があるなど身  
体的、精神的にも大きな  
問題となっている。  
平成27年度介護保険制  
度改革では、要支援1、  
2の方は介護保険から市

町村の地域支援事業に移  
される。

当町の今後の取り組み  
と、在宅介護の生活困窮  
者への支援や、みとりも  
視野に入れた対策を策定  
せよ。

岡田 町民福祉部長

現在利用している介護  
サービス内容を維持する  
とともに、より一層介護  
予防の効果が上がるよう  
努める。

低所得者への対応につ  
いては、社会福祉課内の  
総合相談窓口で経済的な  
問題を含めた生活全般の  
相談を実施している。  
今後、第6期介護保険  
事業計画を策定し、充実  
を図る。



▲気軽に相談を

3 社会福祉課  
SOCIAL WELFARE DIVISION  
福祉総合相談  
障害者医療・障害福祉サービス  
障害者虐待防止センター

# ん質問



西村 稔 議員

## 政 町

今後4年間の

取り組みは

住んでよかったと

実感できるまちづくり

西村 議員

町長の公約に基づき、次の点を問う。  
屋内温水プールは交通の利便性がよく、気楽に行ける場所につくれ。  
農業公園に特産物の生産箇所を設け、研究、改良できる施設との併設をせよ。

また、津幡駅東口開設実現の時期を定めよ。  
今後、女性管理職の登用を増やす考えは。

屋内温水プールは、あらゆる角度から調査研究を行っている、候補地の選定を行っている。  
農業公園は、農業振興を図る拠点とするともに、交流機会の確保などに、交流機会の確保など、有効な観光資源としても整備する。  
津幡駅東口の完成時期は、駅前整備等を含め大きな整備構想でもあり、現時点では明言できない。  
管理職の登用は、従来から男女を問わず能力と意欲のある人材を登用している。

矢田 町長

## 指導員を保育士に 準ずる制度に

資格要件も異なり  
適切ではない

## 学 童 保 育



▲みんなで仲良く (あしの子クラブ)

西村 議員

当町の学童保育施設は他市町に比べて整備されていると考えるが、保護者の経済的負担が大きく、さらなる軽減を図れ。  
今後学童数が増える予想される中、指導員の役割は大きい。指導員を増やすことや身分の保障、適正賃金の支援など、保育士に準ずる制度にせよ。

矢田 町長

施設の運営は、それぞれの実情に合った方針の下で対応している。  
町からは国の補助金額を上回る財政支援を行っており、町学童保育連絡協議会からも評価を得ている。  
指導員を保育士に準じた処遇にすることは、資格要件も異なるため適切ではないと考える。



八十嶋孝司 議員

# ズバリ 町政を問う

# いっぴ

## 当町における 利用促進策は

### 4つの取り組みを計画

### 並行在来線

八十嶋 議員

開業を控える並行在来線 I R いかわ鉄道に、当町も資本参加しており、運行、サービス面での責任は大きい。今以上に地域住民に支持され、支えられる仕組みづくりが重要と考える。

沿線にある俱利伽羅駅を含め、津幡駅における利用促進策の現状と今後の計画を問う。



太田 産業建設部長

I R いかわ鉄道の利用促進について、4つの取り組みを進めている。

① 鉄道を含む公共交通機関の利用を促進するパーク&ライドの推進を図るため、津幡駅前広場の駐輪場と駐車場を再整備し、8月から使用開始となる。

② 駅舎を利用して町特産品や朝採れ野菜などの販売を行う。

③ 駅を始点としたウォーキングや地域団体などによるイベントの開催を予定している。

④ ボランティア活動として花プランターの設置や環境美化活動を予定している。

## 農業公園

### 建設資金に住民参加型

### ミニ公募債の運用を

### 長期事業であり

### 財政運営上は好ましくない

八十嶋 議員

農業公園建設は、期間17年、約20億円の投資事業である。

近年、このような事業に対して、住民から資金を集め、公募債を発行する自治体がある。町民が

資金協力することで行政参加意識の高揚、財政情報への透明化、施設に対する愛着心が芽生えるなどのメリットもある。

町民が町の事業の資金提供者になることで、行政参加意識の高揚を図る効果は期待できる。

矢田 町長



▲県の公募債ポスター

また、満期一括償還となるミニ公募債を発行することで単年度の償還額が増加し、公債費の数値の悪化も懸念される。

しかしながら、比較的耐用年数の短い一部の事業に対して、活用を検討してみたい。

# ん質問



黒田英世 議員

## 政 町

### 町長2期目の軸足は

将来に夢と希望の  
持っているまちづくり

黒田 議員

2040年には全国で896の自治体が消滅すると日本創成会議から提起された。津幡町百年の計を立てるに当たり、この結果は無視できない要素と考える。この最大の要因は出生率の低下としている。

当町の若年女性の人口は2040年には22%減少するとされている。さらなる魅力ある町、選ばれる町となるため、昨年10月からは定住促進策を講じており、結果も出始めている。

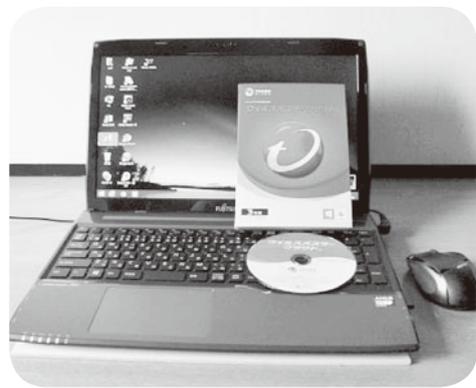
矢田 町長

町政の軸足については、現状の福祉施策などの行政サービスを着実に実行しかつ前進させるとともに、未来につなげる施策に着手し、将来に夢と希望の持てるまちづくりを確実に実行することである。

## システムの セキュリティーは万全か

### 各種の対策を講じている

## 行政情報



▲危機意識を持って

黒田 議員

最近、不正な手段によるデータの流出、盗難などが日常的に発生している。こうした事態に対し、対策を怠ったシステム運用者は知らないうちに悪事に手を貸すことにもなる。

戸籍や税情報などの住民情報ははじめとした機密データは、外部に接続可能なネットワークと物理的に切り離し、独立したネットワーク上にシステムを構築し運用している。そのため、ハッカーやウイルス感染などによる情報の流出、盗難などサイバー犯罪の影響はない。職員の業務用パソコンは外部との接続環境にあるが、各種セキュリティー対策を随所で行っている。

今後は、研修を通じ職員の危機意識のさらなる高揚を図るなど、継続した人的セキュリティー対策を実施していく。

大田 企画財政課長



森山時夫 議員

# ズバリ 町政を問う

# いっぴ

## 町内に出没するクマの 個体数を減らせ

捕獲おりで対応する

### クマ対策

森山 議員

毎年クマの目撃情報が増え、日常生活を脅かしている。クマは夜行性で夕方から早朝にかけて活動すると思われるが、日中でも集落内や周辺での目撃が増加している。人身事故が起きる前に捕獲を強化し、クマの個体数を減らせ。



▲おりの設置に向かう

梶田 農林振興課長

県内には700から900頭のクマが白山や医王山周辺を中心に生息すると予測されており、県では毎年96頭を上限に個体数の調整を行っている。町内では年間3頭から5頭余りが出没している可能性が高い。当町での捕獲数は、平成22年度4頭、23・24年度は各1頭、25年度はゼロであった。個体数を減らす対策は、捕獲おりが一番安全で確実なため、その設置を進めている。

## 安全確保

### 清水丘陵線沿いの 竹林を伐採せよ

影響範囲を調査し、伐採する

森山 議員

冬になると、道路沿いの竹が雪の重みで倒れている。歩行者は歩道を通らず、自転車は倒れた竹を避けて車道を蛇行運転を避けて車道を蛇行運転

するなど、危険な状況にある。竹が倒れても歩車道に達しないように、竹林を整備せよ。

岩本 都市建設課長

降雪によって竹や木などが道路上に倒れ、除雪や通行に支障を来した場合は直ちに伐採し、道路交通の確保に努めている。町道清水丘陵線道路のり面の竹の繁茂は著しい状況になっており、抜本的な解決を図るべく、本年度の降雪前に影響範囲を調査し、竹林の伐採を行い、歩車道の安全確保に努めたい。



▲整備が待たれる竹林

# ん質問



中村 一子 議員

## 総合計画

### 策定プロセスに

### 住民参画を

### 町民の意思が反映する

### 取り組みにする

中村 議員

第五次総合計画策定に向けて審議会が設置されているが、財団法人地方自治研究機構によると、多くの自治体では委員の偏りや固定化が問題になっている。住民参画を進めるためにも無作為抽出による町民会議を開催し、委員には公募制も取り入れよ。

また、既存の市民組織にも提案権を与え、タウンミーティング、オンラインでのアクセス参加も検討せよ。

町の将来像について中学生からの意見も聞け。

矢田 町長

総合計画は町民のニーズや意思を反映した計画にすべきと考えている。町民3000人を対象としたアンケートを行い、基本構想や基本計画についてはタウンミーティングの開催も予定している。審議会の委員は幅広い世代・立場の住民意思を反映するため、各種公共的団体に選出を委ねる。

オンラインでのアクセス参加は、SNSの導入に向け調査・研究中である。情報はホームページなどにより提供し、パブリックコメントも行う。中学生からはアンケートにより意見を聞く。

## 計画を周知し 幅広い意見を求めよ

### 推進協議会を設置し 意見を聞き、進める

## 農業公園

中村 議員

過去の大型公共施設建設と同様に、農業公園計画の説明会を一般町民対象に開催しない理由は何か。

町の将来への責任は町民が負うのに、工期17年の農業公園建設が推進協議会の審議だけでいいのか。

タウンミーティングやアンケート調査を行い、幅広く町民の声を聞くべきである。



▲計画に基づいて

矢田 町長

昨年10月16日から31日にかけてパブリックコメントにより広く意見を聞いている。予定地の方々を対象とした説明会は昨年10月に開催している。町政教室や各種会合など、あらゆる機会の説明しており、十分とは言わないが相当説明を行ったきたと思っている。

したがって、一般町民を対象とした説明会の開催は考えていない。本年度に、予定地周辺の代表者、農業関係者、学識経験者で構成される(仮称)農業公園推進協議会を設置し、その中で意見を聞きながら進めていく。

### その他の質問

- Q** 住民参画、市民協働のまちづくりを行え。
- A** ささまざまな方法で意見を聞く。



荒井 克 議員

ズバリ  
町政を問う

いっば

町長は就任当初より、積極的な科学のまち・つばた構想を抱いている。4月9日の新聞報道によると、商店街の空き店舗を活用した「まちなか科学実験室」（仮称）を整備する方針が示されたが、具体的な計画案を示

荒井 議員

科学のまち

具体的な構想は

まちなか科学館開設で推進



▲日時計に興味津々（ふれあい広場）

矢田 町長

パピエール商店街の空き店舗を利用した「（仮称）まちなか科学館」は、科学のまち構想を推進する重要拠点となる。30人ほどが一度に科学実験や工作活動ができるような施設を予定しており、本年10月の開館を目指している。リニューアルした「ふれあい広場」、平成28年度に開館予定の「歴史資料館」などを巡ることによって人の流れを作り出し、交流人口の拡大を図りたい。

森林公園

情報発信で

さらなるPRを

より多くの発信手段を

準備している

荒井 議員

森林公園にセラピー基地が本格オープンしたが、多くの来場者を得るためには、もっと全国へ分かりやすく新鮮な情報を発信すべきである。首都圏や新幹線沿線で

のPR、旅行会社を含めた観光プロモーション活動の強化、スマートフォンなどIT技術を活用した観光情報の発信などは、きわめて有効であるが、町の考えは。

矢田 町長

県森林公園の活性化を推進するため、本年4月に森と緑の推進室を設置した。町森林セラピー推進協議会では、森林セラピー体験に魅力のあるメニューを加えた「森林セラピー・プラス」を本年7月から月1回開催する。これらの情報は、町広報や県森林公園のホームページをはじめ、各種メディアで行う準備をしている。さらに、新幹線開業に伴い、金沢駅構内に設置する大型モニターでのPRや観光ポスターなどでも情報発信の協議を進めている。



▲歩いてみよう！セラピーロード  
（グランドオープン記念式典）

# ズバリ 町政を問う



南田孝是 議員

## 丘陵公園用地

キノコの森づくりに  
取り組み

関係団体に働きかけ、  
調査研究する

南田 議員

能美市では、荒廃した里山林の保全、再生を図るためキノコの森づくりに取り組んでいる。

当町でも科学のまち・つばた推進事業として、小学生の自然体験活動や、親子が一緒になって触れ合える場として、津幡丘陵公園用地にキノコの森づくりを提案する。

矢田 町長

津幡丘陵公園用地は現在、金沢森林組合に森林管理・環境保全対策を委託している。

キノコの森づくりに、関係団体の協力が不可欠であり、里山を守るボランティアネットワークの構築が重要となる。シルバー人材センターなど関係団体に働きかけ、実現可能か調査研究する。



▲里山の保全、再生を

## セカンドブック事業を

実施を視野に検討する

読  
書



▲真剣に聞き入る子どもたち  
(つばた幼稚園)

南田 議員

ブックスタート事業の次のステップとして、子どもたちがより本に親しみ、読書習慣を身につけられるよう、新1年生を対象に絵本を配布するセカンドブック事業を導入せよ。

子どもたち自身が本に出会う機会を提供するとともに、読み聞かせなど親子の絆を深めてもらうことにもつながると考える。

竹本 教育部長

平成24年3月に町子ども読書活動推進計画を策定し、図書館・学校・保育園が一体となってさまざまな読書活動に取り組んでいる。

本年度の新たな取り組みとして、司書が選んだ絵本を公立の保育園や幼稚園に届ける事業や、入学直前の保育園児・幼稚園児を図書館へ招待する事業を実施している。セカンドブック事業については、実施を視野に検討したい。

### その他の質問

Q 消防庁舎のトレーニング機器の整備を。

A 劣化のため使用禁止としている。

# 追跡 あの質問のゆくえ



▲ちょっとしたお出かけのおともに

## ゆるキャラをデザインした エコバッグで大河ドラマの誘致推進を 平成25年6月会議 八十嶋孝司議員

ここ数年、大河ドラマの誘致推進に当たり、ゆるキャラを使ったさまざまな取り組みがなされている。

より周知を図ることや、対外的にアピールすることを目的として、ゆるキャラをデザインした町独自のエコバッグをつくることを提案する。

### 答 弁

## 制作を検討する

エコバッグの活用は、買い物などに手軽に使用していただけることやゆるキャラのデザインを大きく表示できることなどから、PRや機運向上の効果が期待できる。

今後、当町で開催されるイベントなどでの配布や販売も視野に入れ、制作を検討していきたい。

### その後

## バッグを制作し、販売開始

町観光協会で大河ドラマ誘致推進キャラクター「火牛のモーちゃん」をあしらったトートバッグを制作し、平成26年3月から1枚1,000円で販売を開始した。

今後は町民に日常生活で使用してもらい、さらなる誘致推進のPRにつなげていきたい。

これまでに行われた質問や提言がどう取り組まれたか、2項目を選びレポートする。

## 早急に定住人口拡大策を

平成25年6月会議 多賀吉一議員  
ほか5名

町の人口は平成24年3月をピークに減少に転じた。

他市町では人口の減少に歯止めをかけるべく、さまざまな定住人口拡大策を打ち出し、実績を上げている。人口の減少は税収の減に加え、町の活性化を阻害する。

喫緊の課題として捉え、住宅取得助成制度を創設するなど、早急に定住人口拡大策を図れ。

### 答 弁

## 9月会議までに予算計上したい

定住人口拡大につながる助成制度に早急に取り組みたい。

一時的な補助や税控除などではなく持続可能な制度を創設し、9月会議までに予算計上すべく取り組んでいく。

### その後

## 定住促進支援制度を開始

平成25年11月から定住促進支援制度として、住宅の取得に関する奨励金3種のほか、新規雇用促進奨励金、結婚祝金の受付を始めた。中でも住宅取得等奨励金制度の申請件数は、26年5月末には100件を超え、町の人口も増加傾向にある。

4月からは結婚を定住に結びつけるために婚活事業も始め、さらなる定住人口の拡大を目指している。

## 議会を傍聴しましょう

◎町政一般質問は、年4回（3月、6月、9月、12月）行われます。

お問い合わせは、  
議会事務局（Tel.288-6410）



津幡町HP携帯版

# みんなで楽しくやってみよう!!

## サークル紹介第19回

### つばた町太極拳教室

始めてみませんか  
**太極拳**

講師 **宮村 幸子**  
みやむら さちこ



太極拳のゆっくりとした動きは、心身のバランスを整え、心地良い集中力を養い、足腰を鍛えます。健康法として、生涯スポーツとしてよく知られている太極拳ですが、津幡町では平成23年4月に太極拳協会が立ち上げられました。  
現在は萩野台公民館と

シグナスの教室にて、熟練者も初心者も一緒にワイワイ賑やかに練習をしています。県の交流発表大会、県体、各競技大会、シグナス祭など積極的に参加しています。また、希望者は日本武術太極拳連公認の検定を受験することもできます。健康維持のため、級取得に向けて、目的はそれぞれですが、皆楽しく集っています。  
気軽にいつでもお立ち寄りください。お待ちしております。

- ☆萩野台公民館  
毎週(火) 19時30分～  
(土) 13時30分～
- ☆シグナス  
毎週(木) 10時～  
(金) 19時30分～
- ◆連絡先  
090-3766-14072 (宮村)

### ディスカバー つばた⑧

このコラムは、町内の名所・伝承を紹介します。

～蓮如上人三宝鳥霊地(南横根)～

さんぼうちようれいち

現在小矢部市にある乗光寺が南横根にあったころ、蓮如上人が訪ねられると、境内の老梅に霊鳥が飛んできて、「念仏・念法・念僧」と鳴いたそうです。  
現在、地区の外れに自然石の碑が2基あり、「蓮如上人三宝鳥霊地」と刻まれています。



### 表紙の題字は

中条小学校6年  
中邨 愛里さんの作品です。

津幡町はあいさつがすきな町です。私があいさつすると、近所の人もあいさつをしてくれて心に花がさきます。



### あとがき

昨年11月に第1回議会報告会を、町区長会を対象に行いました。  
議会だよりの内容をもとに各常任委員会から報告を行い、また議会に対する質疑・応答の中、活発な意見もいただきました。  
本年は7月10日に町区長会、24日には町商工会会員との報告会を予定しております。  
これからも町民の皆さまに分かりやすく、愛される議会だよりの作成に、委員一同がんばってまいります。  
(荒井)



編集委員長 黒田 英世  
副委員長 酒井 義光  
委員 八十嶋 孝司  
荒井 克  
森山 時夫  
塩谷 道子